

# あいち病害虫情報 最新情報

平成21年10月16日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除グループ

## 台風18号の影響は？

台風18号は、8日に知多半島付近に上陸した後、沿岸部を中心に記録的な大雨となり、非常に強い風が吹きました。この風雨により、露地野菜で細菌性病害の発生が懸念されますので、排水対策を十分に行い、銅剤等による防除に努めてください。

## イチゴの病害虫

イチゴうどんこ病の発生が、過去10年間と比較して最も多い状況です。今年は9月下旬から本ぽでの発生を確認していますので、今後、多発するおそれがあります。詳しくは、本日発表の「病害虫発生予察注意報第3号」を参照してください。

炭疽病の発病株は伝染源となりますので、速やかに抜き取り適切に処分しましょう。

ハダニ類の発生はここ数年発生がやや多い状況が続いています。発生を確認したら天敵を導入する前に防除を徹底しましょう。

## 野菜類、花き類の鱗翅目害虫

オオタバコガの県内各地のフェロモントラップにおける誘殺数が、9月下旬以降平年より多くなっています。また、オオタバコガの発生にとって好適な条件が今後も続くと思われ見込まれますので、特に注意してください。詳しくは、本日発表の「病害虫発生予察注意報第4号」を参照してください。

ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺数は平年並に推移しています。しかし、卵塊や若齢幼虫が多く認められるほ場では、今後被害が出る恐れがあります。幼虫の分散前に防除を実施しましょう。

## 露地野菜の病害

秋冬野菜における病気については、現在発生の多いものはありませんが、今回の激しい風雨で傷んだところへ病原菌が侵入することにより、キャベツやハクサイの軟腐病やキャベツの黒腐病、ハクサイ・ダイコン等の黒斑細菌病が発生・蔓延するおそれがあります。気温が高めに推移すると発生が助長されますので、今後の発生に注意しましょう。また、発生が見られるほ場では治療効果がある薬剤で防除しましょう。降雨によって感染が拡大しますので、初発を認めなくても、降雨の前後に銅水和剤など予防効果に優れた薬剤で防除しましょう。

## 果樹カメムシ類

チャバネアオカメムシは、現在、ヒノキなどの針葉樹林に生息しており、今後、落葉の下などの越冬場所へ移動していきます。予察灯へ多数の飛来が認められていますので、越冬場所に移動する前に果樹園への飛来するおそれがあります。特に、気温が高い日や風が強い日には注意しましょう。

## ダイズのミナミアオカメムシ

ミナミアオカメムシは、1月の平均気温が5℃を超える地域で越冬し、翌年の発生源となります。多発生ほ場では、収穫前日数に気をつけて防除し、翌年の発生源を減らしましょう。

## トマト黄化葉巻病を媒介するタバココナジラミに注意！

トマト黄化葉巻病を媒介するタバココナジラミの発生が、キャベツや雑草など屋外の植物で多い状況が続いています。また、施設トマトで発生の多いほ場も確認しています。今後、しばらくは施設への侵入が懸念されますので、侵入防止及び防除を徹底しましょう。

問い合わせ先 愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部 病害虫防除グループ  
TEL 0561-62-0085 FAX 0561-63-7820